

あかるいまち21

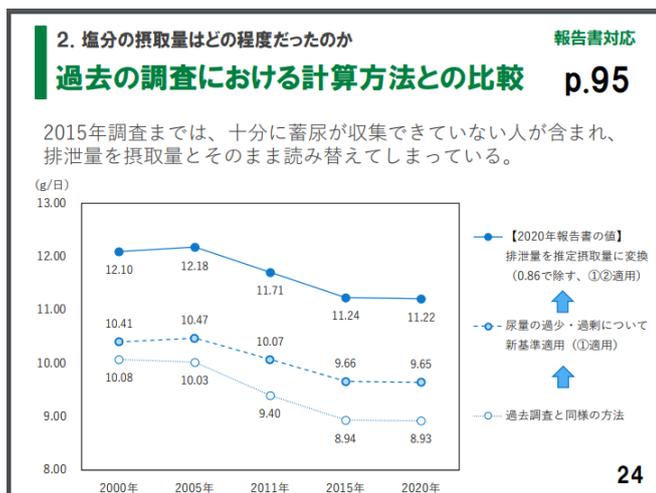
No.1413 2021年7月2日組合員活動推進課 082-532-1264

	7月	2021年度
組合員ふやし	3人	334人
出資金ふやし	19万円	3,123万円
純増	16万円	△777万円

24時間蓄尿塩分調査報告会

6月22日、昨年度行われた24時間蓄尿塩分調査の最終報告会がありました。組合員4名（自宅からのオンライン参加）、職員3名の参加でした。

最初に生協総合研究所の宮崎達郎氏より今回の調査から「塩分の推定摂取量の評価方法の変更について」の解説があり、評価方法の変更に伴い推定摂取量は前回調査が11.24グラム、今回調査が11.22グラムと微減であった事が報告されました。厚生省の食事摂取基準の達成率では5年ごとの経年比較で、男性が11.25グラム/日以上の場合



は6割台で大きな変化がみられないものの、7.5グラム/日未満が微増ながら目標値達成は増加している。一方、女性は9.75グラム/日以上は減少傾向である事が報告され、減塩への意識も大きくなっていると報告がありました。

後半、医療福祉生協連の馬場康彰常務理事からは「すこしお生活」を「楽しく」実践もしながら取り組む企画を生協で考えてみましょうと提案がありました。今後、健康づくり委員会で議論できればと思いました。

また、東京大学大学院の佐々木敏教授からは継続調査している「団体」は医療福祉生協だけとなり推移をみるにはとても貴重である事、健康意識の格差が生まれている事、医療福祉生協の組合員は健康意識が高いので「減塩」を広めましょう。班会を通じてお互いで「すこしお生活」を盛り上げてもらいたいとの提案や、イギリスのパン製造会社に減塩の提案をして10年間で1グラム下げる運動に参加された経験を説明してくれました。

5年に1度の調査で忘れがちですが、私たちもこれから5年間で「すこしお生活」を心がけ、次の調査で「減塩」が進んでいるのが確認できると良いですね。

